

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	奥森吉青少年野外活動基地	設置年	平成 10 年
所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原 1 番地		
指定管理者	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン		
県所管課	自然保護	課	調整・自然環境 チーム

1 施設の概要

設置目的	奥森吉の恵まれた自然の中で野外活動を行う機会を提供することにより、青少年の自然環境に関する意識の高揚を図り、もって自然環境の保全に関する学習の振興に寄与する。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの					
	自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	エリア面積487.7ha					
主な設置施設	管理棟 1 棟、キャンプ場サニタリー 3 棟、キャンプサイト 60 区画					
指定管理業務の内容	料金制	有 (利用料金併用制 ・ 完全利用料金制) <input type="radio"/> 無 (指定管理料制) <input checked="" type="radio"/>				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R3. 4. 1		～	R8. 3. 31	
	営業期間・時間	6 月 1 日～10 月 31 日 午前 9 時～午後 6 時				
		(1) キャンプ場を主とした使用許可等に関する業務 (2) 施設及び設備の維持管理に関する業務 (3) 野外活動基地の管理に関し、知事が必要と認める業務				
自主事業の内容	(1) 小学生までの児童を対象とした夏季の組織キャンプと自然体験活動及び参加児童保護者も加えたデイキャンプ、植樹活動 (2) 小中学生を対象にした組織キャンプ、野生生物調査及び学習 (3) 他団体主催の流木アートでオブジェと落葉で堆肥作りに共催として協力					
直近3年の年間利用者数	R4	1,248 人	R5	1,102 人	R6	1,249 人
直近3年の年間利用収入	R4	千円	R5	千円	R6	千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入計		6,919	6,781	6,781	6,781	6,942
利用料金収入						
指定管理料		6,919	6,781	6,781	6,781	6,781
その他収入						161
支出計		6,720	7,472	7,062	6,785	7,767
人件費		2,945	3,249	3,164	3,001	3,115
光熱水費					806	873
修繕費					132	609
外部委託費					1,978	1,978
その他経費		3,775	4,223	3,898	868	1,192
差引		199	▲ 691	▲ 281	▲ 4	▲ 825

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和6年度 の目標	利用者数 1,500人
--------------	-------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	1,249人	達成率	83.2%
	具体的な 取組と その効果	コロナ後、利用者数は徐々に回復傾向になると思っていましたが、今年度は前年実績を上回ったものの休日の雨天とお盆前後の悪天候で利用者に下山勧告を出さざるを得なかった等が、目標未達成の要因でした。		
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度
	目標	1,500	1,500	1,500
	実績	1,590	1,248	1,102
	達成率	106.0%	83.2%	73.5%
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標			
	設定根拠			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I>の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	目標に近づけなかったのはお盆と休日の悪天候が影響しました。又、利用者の2極化(Wi-Fi機能の未整備、自然志向派の減少と情報の遅れ)も原因として考えられる。
県 (所管課)	B	天候不順による目標の未達であり、立地的にやむを得ないもの。利用者が安心して施設を利用できるよう緊急時の連絡手段を確保する必要がある。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

<観点Ⅱ> 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	90.0%		
	具体的な 取組と その効果	草地整備等とロケーション、トイレ等施設の衛生面では毎年高評価、反面不評なのはシャワー、Wi-Fi使用できないこと。電波環境が悪くて電話が繋がらないなどの要望があり、関係機関と協議したい。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	88.6%	91.0%	92.8%	

<観点Ⅱ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	不評点以外は毎年高評価なのでこの水準を維持したい。
	県 (所管課)	A	引き続き高い満足度を維持している。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

<観点Ⅲ> 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	法令がらみの消防設備点検、それに伴う修繕費用が嵩んで赤字決算になった。それ以外の経費は燃料費高騰の影響に伴う補助金もあり概ね安定していた。
	具体的な 取組と その効果	施設の老朽化対策と法令等による新たな経費については県と協議した。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	燃料費高騰の影響に伴う補助金
	具体的な 取組と その効果	上記補助金により修繕費以外はほぼ収支予算書どおりでした。

<観点Ⅲ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	指定管理期間中に新たな支出項目と再委託料の増額があった。
	県 (所管課)	B	経費の低減に努めて管理運営されている。物価高騰や人件費の上昇による経費の増加に加え、施設設備の老朽化により維持管理経費が増大している。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B:A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

<観点Ⅳ> 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	<p>○人員配置と業務 施設の管理運営に必要な人員を配置し、利用者の受付、エリアを定期的に巡回し施設の安全等に努めた。</p> <p>○環境整備 キャンプ場建物及び草地については快適に過ごせるよう消毒、清掃、草刈りを行った。</p> <p>管理棟については、定期掃除と見回りで清潔な室内環境を整えた。</p> <p>○情報提供 利用者には野生生物との関わり方を伝え、道路情報、危険箇所等は玄関ホールの白板に表示した。又、携帯電波が弱いので通話可能な場所を伝えた。</p> <p>○利用者増の取り組み 生物多様性キャンプ、他団体とのイベントによる集客に努めた。</p> <p>○感染症などの衛生面 移動制限前と同様に施設の定期的な除菌対策を行い、感染予防に努めた。</p>
--------------	---

<観点Ⅳ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	施設の管理運営等、指定管理者業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	B	適正な管理運営に努めている。冒険の鍵クーンのHPが使用できない状況が続いている。指定管理施設の情報発信が十分ではないため、改善が必要である。

【評価基準】 A:順調(改善点なし)、B:概ね順調(重大な問題点なし)、C:改善が必要(重大な問題点あり)
県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

奥森吉の恵まれた自然とふれあい、学習できるエリアとして活用されており、県民の環境保全の意欲の増進、環境教育・環境学習の推進等に寄与している。

○施設運営の課題

施設の老朽化と利用者の安全の確保。携帯電話の電波が届かない地域のため、利用者が安心して施設を利用できるよう緊急時の連絡手段を確保する必要がある。

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。緊急時の連絡手段を確保するため、令和7年度に衛星携帯電話を設置する。施設の老朽化が進んでいるため、将来的な大規模修繕を含めた施設のあり方について検討する必要がある。